

# 北高夢ロード通信

第 15 号(2024.7)

## 豊北の生涯学習/教育行政の一断面

会長 波多野宏之

日頃、豊北町内の図書館、資料館、体育館などを利用し、そのサービスの恩恵に浴しているわけですが、なぜ?と疑問に思うことも多々あります。そのひとつが、以前から触れている、豊北図書室のありようで、複写のできる豊北図書館への移行(2022年7月)が実現したものの、これを契機とした案内道路標識の設置問題——。市民の指摘によって、ようやく2年後、この7月末までには表示がなされる予定です。

本会では地域の図書館サービス改善への取り組みを事業計画の一つとして掲げており、7月12日、市立中央図書館副館長、豊北図書館長と面談し、当面の要改善事項を記した要望書を手渡しました。そこでは、図書館上層部に専門職が不在の現状をただすとともに、図書返却箱を豊北総合支所に設置すること、児童生徒向け図書偏重で一般用図書、とくに参考調査資料の不足した蔵書構成の改善、複写機利用上の利便性向上などを要望しています。

こうしたなか、改めて、なぜ公共図書館機能を十分に果たし得ないような図書室を中学校内に置くことになったのか——。往時の『広報ほうほく』『かけはし』[議会報]をめくってみると、概要次のような経緯が見えてきます。

1983年5月17日

豊北町民センター(現、生涯学習センター)竣工式。

1992年度

社会教育係が課に昇格。

1993年5月1日

土井ヶ浜弥生パーク(人類学ミュージアム)オープン

1999年12月町議会

図書館建設についての質問に対し、町長は、必要だが当面町民センター(現、生涯

学習センター)の図書室(14,000冊)や各公民館(各400冊)の充実を、と答弁。  
2000年度~2006年度

国営農地再編整備事業

2001年4月1日

歴史民俗資料館リニューアル・オープン  
豊北町中学校統合建設委員会設置

文部科学省「地域の交流、学習の場としての学校施設の整備計画」研究委嘱を受ける  
2002年春

統合中学校基本計画案(基本構想の概要)

2003年2月6日

豊北町中学校統合建設委員会最終答申  
(中学校の図書室やコンピュータ教室を総合化し、大規模なラーニングセンターとして、生徒の学習の拠点とすると共に、町民の図書館としても活用する)

2003年秋

新中学校の基本設計(従来の学校図書室を充実し、町民の方にも利用できるように一般図書も整備し貸出を行います)

2003年12月定例町議会

豊北町統合中学校の建設に伴う用地の取得と、町内4中学校を統合し1中学校とするための条例の一部改正(15対2)で可決

2005年2月13日

豊北町を含む豊浦4町、下関市に合併

2006年4月1日

下関市立豊北中学校開校(学校内に豊北図書室設置)

要するに、豊北図書館問題は、「公共」図書館建設、中学校統合、国営農地の活用を一気に解決しようとした豊北町による机上案的な「目新しい」施設設置が、折も折り下関市との合併と重なり、その後実際の機能を検証することなくそのままに長年放置された結果だ、と思われてなりません。

## <ギャラリー夢ロード>第21回展 四季の日本画 我妻千賀子作品展

5月14日(火)～6月9日(日)、標記の展示会を開催しました。日本画28点、色紙2点、スケッチブック12冊(写真下)、図書10冊が展示され、我妻千賀子さん(1916～2016)の中年から晩年に至るまでの画業を偲びました。

作品、図書とも長男で本会会員でもある我妻滋夫氏より<アートの本棚>に寄贈されたもので、今回、首都圏、島根県より、同氏とご親族都合4名が来場され、18日(土)、同氏によるギャラリートークも開催。いま、テレビ放映中の「虎に翼」に負けないくらい、当時としては女性である千賀子さんの画業への取り組みは大変であり、しかしそれを継続されたタフな女性であったことが紹介されました。

24日(金)には、下関北高総合文化部生徒9名と顧問教諭2名が来場。日本画の顔料や紙についての説明を受けた後、各自の気に入った作品名とどのような点が興味を引いたか、を紙に書いてもらい、意見交換をしました。



展示期間の最終週は<アルトテーク>(作品貸出ギャラリー)期間として、額入り作品17点を貸し出し対象とし、このうち4点が貸し出されました。(波多野宏之)

## ♪ 音楽とお話の夕べ ♪

2023年11月24日 何十年振りかでクラシック音楽を聞く機会を得る。

古屋さんが担当と知り参加する。シベリウスヴァイオリン協奏曲 二短調 作品47 序奏から心を洗われ衝撃を受けた。翌日スマホで落とし同曲を我が家の音響機器で聞くがヴァイオリン：チョン・キョンファ指揮：アンドレ・プレヴィン演奏：ロンドン交響楽団でなかった為、前日の感動はなく残念!! 曲目だけでは音色も感動も違う、聞き比べて知らされた喜寿の私(笑)。

2024年5月17日アントニオ・ヴィヴァルディ■ヴァイオリン協奏曲「四季」作品8の1～4 作曲：アントニオ・ヴィヴァルディ 演奏：マルコ・フィオリニ(ヴァイオリン)イ・ムジチ合奏団。初めて聞いたので春らしい色は感じられたが・・・又聞いてみたい。■日本の歌 ソプラノ：佐藤美恵子ピアノ：村上尊志①赤とんぼ②ねむの木の子守歌③ゆりかご④子守歌 ②は美智子皇后陛下御製と古屋さんの解説 いずれも気持ちよく心に沁みる歌だった。

数十年前アメリカ西海岸でJazzの生演奏に感涙した。翌日より中心市街地やアウトレットモール等々行く先々でJazzを聴く、日本に帰り仙台市のJazzフェスタや時折下関のホテルで楽しんだ。

2024年5月24日～日本のジャズを聴け!～白岡さんの担当でラウンド・ミッドナイト(1985)宮沢 昭(テナー・サクソ)釣りが趣味で曲名やレコード・ジャケットに「山女魚」や「いわな」を採り上げた等々解説も面白い。今後もスタンダードからマニアックなものまで解説を交え楽しみたい。(來嶋 厚)



## 音楽とお話の夕べ

5月31日(金) 市倉栄治 (フォーラム杜屋)  
「季節を彩るイーージーリスニングの名曲・名演」  
6月7日(金) 穂枝岳志 (夢ロード会員)  
「ユーミン 四季の詩」

今回の音楽とお話の夕べの後半は、上記のようなメニューで開催されました。



フォーラム杜屋主宰の市倉さんが初登場です。市倉さんは、「夢ロード10周年のつどい」のシンポジウムでも、フォーラム杜屋プロジェクトの創設から現在までの取組を熱く語られました。その膨大なコレクションと博識を活かした今回の登場です。音楽全般に造詣が深い方ですが、特にイーージーリスニングに関しては、レイモン・ルフェーブルと個人的な付き合いもあり、ファンクラブの会長もされたことがあるそうで、そのコレクションと知識、熱量は半端じゃありません。

“ムード音楽の御三家”と称されたマントヴァーニ (英)、パーシー・フェイス (米)、フランク・プウルセル (仏) の演奏を中心に、四季 (春・夏・秋・冬) それぞれにマッチした曲を紹介してくれました。ポール・モーリアの「恋はみずいろ」、パーシー・フェイスの「夏の日の恋」「風と共に去りぬ/タラのテーマ」、レイモン・ルフェーブルの「枯葉」など、選曲がばっちりです。昔よく聴いた懐かしいメロディーにうっとり聴き惚れてしまいました。

穂枝さんの「ユーミン 四季の詩」は仕事の関係で駆けつけることができず、残念ながら最後の2~3曲しか聴くことができませんでした。メインは松任谷由美作詞・作曲の楽曲を歌う麗美さんだったようで、タイトルに魅かれてユーミンを楽しみに聴きにきた人は少し残念がっていました。(白岡)

## 読書会のススメ

～読書会「カフェ・リーブル」のこと2～  
読書会「カフェ・リーブル」が始まり、この7月で1年になります。これまで、2ヶ月に1度位のペースで6回開催、参加者は延べ45人、80冊以上の本が紹介されました。児童書から思想書、奇書に至るまで多彩で、今までに被ったのは1冊だけです。

第5回では「積ん読読書会」として、ずいぶん前に購入したまま未読だったり、いつも側に置いておきたい等の理由で積まれた本の中から各自が選んだものを紹介する読書会を実施。また第6回では、〈アートの本棚〉(旧笹尾商店)に集まった参加者と初のオンライン(ZOOM)参加者によるハイブリッドを試みるなど、新しいことにも取り組みながら続いています。

毎回参加して下さる方、初めてお会いする方も本について2時間も語り合えばすぐに打ち解けます。

歳を重ねるにつれ、視覚的に読みづらくなったり、集中力が下がったりと、読書の時間が減ってきているとよく耳にします。

そんな時こそ、他人が読んだ本の感想を聞き、意見を交わし、様々な考え方を知ることができる読書会は良い機会ではないでしょうか。

読書の効能は、読解力や知識が身につくこと

はもちろんのこと、記憶力や集中力の維持向上、ストレス緩和などなど、挙げだしたらキリがないほどメリットばかり。人に話すこと(=アウトプット)でさらに効果が高まることでしょう。

ここまでお読みいただき、読書会に参加しなくなった方に朗報です！次回9月28日(土)14:00~16:00(於くアートの本棚>)もハイブリッドで

開催します。地方在住でZoomで参加ご希望の方は、事前に [kitakoyumeroad@gmail.com](mailto:kitakoyumeroad@gmail.com) までご連絡ください。

招待メールを差し上げます。(溝口 あや)

第6回

### カフェ・リーブル

リーブルとは?  
libre livres  
「自由」「無償」、そして「本」のこと。

土曜日のひととき  
を飲みながら、  
語り合いませんか?

おすすめの本を1冊、  
ご用意ください。

- 会場: 〈アートの本棚〉(旧笹尾商店)  
下郡市北町東部838-5
- 日時: 2024年7月6日(土) 19:00~21:00
- 主催: 北高夢ロード実行委員会
- お申込み・会場などの詳細は、お電話で...  
080-7749-7756(波多野)

今日はこの  
部活です...

## 2024 年度総会報告

北高夢ロード実行委員会 2024 年度総会は、4 月 27 日（土）、滝部公民館において昨年に続き対面で開催されました。4 月 1 日現在の正会員数 50 名に対し出席者 14 名、委任状 20 名の計 34 名で、過半数を上回り総会は成立。議長に西島英敏氏を選出し、一部字句を修正のうえ、すべての議案が原案どおり承認されました。意見として、会員数の増加に努めること、豊北図書館のサービス改善策として図書返却箱を総合支所に設けるよう働きかける必要がある、などの提案がありました。

## 2023 年度事業報告

### (1) 創立 10 周年行事として下記を行った。

10 周年記念展示 「「夢ロード」の 10 年と通学路の記憶」展の開催（11.7～12.3）

10 周年記念冊子 『「夢ロード」10 年のあゆみ』の編集刊行（2.20 A4 89p.）

10 周のつどい：シンポジウム「アートと市民をつなぐ：まちづくりの実践」、10 周年記念表彰、サクソフォン演奏 の開催（11.11）  
（参加者 66 名）

### (2) 下関北高に通学する生徒への傘貸与

事業を継続し、61 本を追加した（累計 921 本）。

### (3) <アートの本棚>による図書の閲覧貸出

<アートの本棚>の閲覧貸出サービスを行い、蔵書紹介のため「<アートの本棚>二十の扉」展を開催した。（(4) 参照）。読書週間に下関北高図書室で<アートの本棚>展示「うごく絵、みる絵、芸術のかたち」（10.27～11.9）を開催し、『アートの本棚通信』第 9 号を刊行した。新たに読書会「カフェ・リーブル」を 4 回開催した。

### (4) <ギャラリー夢ロード>による美術作品等の鑑賞機会の提供

展示会を 3 回開催し、各金曜日、<音楽とお話しのタベ>を開催（計 10 回）したほか、第 19 回展ではワークショップ「ドールハウスを作ろう！」を実施した。第 20 回展は、展示終了後、豊北生涯学習センターへ巡回して鑑賞機会の増加を図った。

第 18 回展 「<アートの本棚>二十の扉」展 5.23～6.18（入場者 138 名）

第 19 回展 「「夢ロード」の 10 年と通学路の記憶」展 11.7～12.3（入場者 145 名）

第 20 回展 北高成果展 2024 1.30～2.11（入場者 87 名）

### (5) 地域の歴史・民俗・自然環境等の調査・研究を通じた学習支援活動

豊北の水研究第 6 年次として下関北高 2、3 年生授業「地域探究、同Ⅱ」へ、夢ロード独自のテーマに沿って協力したほか、豊北小学校で、干し柿づくりを行った。蒙古襲来紙芝居の作成を継続し、第 7 回粟野川流域ホテル観察会を開催した（5.26 参加者 6 名）。

豊北中学校で「個別指導による学力向上教室・数学」をサポートした（月 2 回）。

### (6) 会報『北高夢ロード通信』の刊行

第 13 号(2023.7)、第 14 号(2024.3)を刊行した。

### (7) 下関北高との協同

学校の魅了を増進するための方策について、関係教員との意見交換を行ったが、今年度も文化祭には参入できなかった。読書週間<アートの本棚>展示((3)参照)、「北高成果展」((4)参照)、「地域探究Ⅰ、Ⅱ」(5)参照)を実施した。県外在住会員を対象に『やまぐち応援寄附金』の広報を仲介し、下関北高への支援を呼びかけた。

### (8) 地域の関係機関・団体との連携

豊北高校同窓会等と連携し、下関北高校新入生祝意幕を掲示した（3.27～4.24）。総会後に豊北中学校校長等との懇談会を開催した（4.23）。

下関市生涯学習センターへ展示会を巡回したほか、滝部公民館祭りに「紙芝居」実演で参加した（10.28）。

しものせき市民活動センターの登録団体活動紹介パネル展に参加し（9.26～10.1、10.30～11.10）、新たに旧 4 町の交流会「夏の市民フェスタ」に参加した（8.20）。

**(9) 豊北の公共図書館サービス改善への取り組み**

豊北図書館の利便性向上のため、道路標識改修や蔵書構成の改善について提言した。

**(10) ホームページの運用**

継続して運用した。

**(11) 総会、理事会**

総会は対面で実施した(4.23)。役員会は5回実施した(4.8\*、5.21、9.2、11.4/6\*\*、2.17) \*リモート \*\*分散開催

**2024 年度事業計画 下線は新規事業**

**(1) 下関北高に通学する生徒への傘貸与**

事業を継続する。

**(2) <アートの本棚>による図書の閲覧貸出と図書展・読書会の開催**

<アートの本棚>(旧笹尾商店)の公開を継続し、閲覧貸出サービスを行う。

読書週間に下関北高図書室で<アートの本棚>展示(10.27~11.9)を開催し、『アートの本棚通信』第9号を刊行する。

読書会「カフェ・リーブル」を隔月に開催し、条件が整えば、リアルとリモートのハイブリッドで実施する。

**(3) <ギャラリー夢ロード>による美術作品およびの音楽鑑賞機会の提供**

展示会を3回開催し、会期中にギャラリー・トーク、<音楽とお話しのタベ>等を実施するほか、ギャラリーでの展示終了後、展示内容によっては他機関へ巡回して鑑賞機会の増加を図る。

第21回展「四季の日本画：我妻千賀子作品展」展

第22回展「LPレコード・ジャケットとその時代 Part 2 フォーラム杜屋コレクションより」(仮称)

第23回展「豊北小学校・豊北中学校生徒作品展 2025(予定・仮称)」

**(4) 地域の歴史・民俗・自然環境等の調査・研究を通じた学習支援活動**

豊北の水研究第7年次として下関北高2年生授業「地域探究」へ、夢ロード独自の研究テーマ(アオノリ・モクズガニ養殖実験/海岸漂着物問題/栗野川流域の地質・生物)に沿って協力する。小中学生徒との協同も視野に入れる。

モンゴル襲来紙芝居の作成を継続する。第8回栗野川流域ホテル観察会を開催する。

豊北中学校での「個別指導による学力向上教室・数学」(月2回)をサポートするほか、「折り紙同好会」開催の準備を継続する。

**(5) 会報『北高夢ロード通信』の刊行**

第15、16号を刊行する(7、3月)。

**(6) 下関北高との協同**

学校の魅了を増進するための方策について、広く論議する場を設ける。

文化祭への参入のほか、読書週間<アートの本棚>展示((2)参照)、「地域探究」(4)参照)を実施する。

県外在住会員を対象に『やまぐち応援寄附金』(ふるさと納税)の広報を仲介し、下関北高への支援を呼びかける。

**(7) 地域の関係機関・団体との連携**

豊北高校同窓会等と連携し、下関北高校祝意幕を掲示する(3月~4月)

下関市生涯学習センター等へ展示会を巡回する。

滝部公民館祭りに参加する。

しものせき市民活動センターの登録団体活動紹介パネル展、旧4町対象の夏の市民フェスタに参加する。

**(8) 豊北の公共図書館サービス改善への取り組み**

下関市豊北図書館の利便性向上のため、実態調査その他必要な活動を行う。

**(9) ホームページとリモート会議システムの運用**

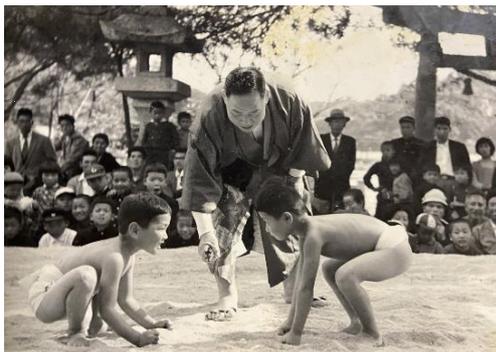
**(10) 総会、総会後行事、理事会(年5回程度)の開催**

## 「下関北高相撲部を励まそう」

4月27日の午前中、下関北高の土俵で「中国高校相撲選手権大会 山口県予選会」を観戦する機会を与えられ、夢ロード会員5名に豊北小学校長山田先生も来られ、高校生の実物の取り組みを観させていただきました。下関北高3名、南陽工業高1名の参加で、山口県高校相撲界での下関北高相撲部の大切な位置を思わせられました。

午後3時からの会では①下関北高校長原本先生から宿舎、賄いについての地域への協力要請と相撲部生徒の日曜日に下関武道館に向いて子ども相撲の指導協力の報告。顧問の先生お二人の参加もいただき、朝岡先生はご自分の体験も含めて、小学校からの地域での相撲熱の大切さを強調されました。②豊北町の過去の相撲に関する記憶を持ち寄る時間を持ちました。滝部の市守神社での相撲は当初は近隣の高校が参加する阿川での高校選抜相撲大会がスタートであったこと、市守神社での相撲大会はやがて参加者が青年層になったこと、商工会議所青年部の尽力があったことなどが分かりました。西島モータース西島氏と阿川の戸田氏からの伝達に感謝します。また、滝部小での横綱鏡里が参加した大相撲挙行での写真、裏話が披露されました。③川棚温泉玉椿旅館女将藤井優子さんから「玉椿旅館と豊浦の相撲文化」と題して御祖父藤井光太郎の相撲人生、玉椿旅館を作り大相撲挙行に尽力したこと、豊浦町の相撲文化の一つの核になったことなど伺いました。会参加者30名。会の冒頭の挨拶は夢ロード会長波多野氏、締め挨拶は下関北高同窓会長田中氏にいただき、北高相撲部を盛り立てる思いを共有しました

(文責 岡崎)



(30年代の阿川子供相撲)

## 寒さに閉口、今年のホタル観察会

栗野川流域ホタル観察会(第8回)

は、昨年に引き続き神出川で5月30日(金)19:40~に実施した。

直前の説明効果か、観察を始めてすぐ「ここのゲンジホタルは点滅間隔が標準より長い 2.5秒だ。」という声があがった。



いい会になりそうだ。そういう予感だったが…やがて崩れる。この日は気温 19℃で肌寒く、参加者 13名(高校生6名)は、まばらなホタルにトーンダウンしていった。

期せずして「群生が観たい」という声が起こった(20:40)。促されてオケ瀬などに移動したものの盛り上がりせず、結果は想像どおり。

事前の状況把握がおろそかであったと“反省しきり”の観察会となった(21:15 過ぎ…)。

## 今年はモクスガニ養殖に挑む

「豊北の水研究」という大きなテーマを掲げる地域探求では、新たに高校でのモクスガニ養殖に挑むことになった。滝部でこれを生業とする刀禰田恭裕氏(36歳)に講師を依頼。栗野川漁協から許可を受けて、これまで4回にわたって捕獲・試食・幼体の放流等ひととおり体験させることができた。KRY テレビがこれに注目、取材を受けて放映されている。



モクスガニの幼体放流、6/5(水)中山神社(田耕)

特筆すべきは、新講師がユニークだったことだ。永富俱敬氏(講師の師匠)も会に加わり「師匠」と呼ばれて応答する。刀禰田氏も生徒から「師匠」と呼ばれて質問に答える。そんな和やかでユニークな授業が展開した。(藤岡)

## ほうほく 本のある場所③

### 滝部小学校図書館

豊北小学校は、2020年に豊北町内すべての小学校が統合し誕生しました。校舎は、統合前の滝部小学校のものを引き継いでいます。学校図書館も旧滝部小学校の図書室をそのまま利用しています。私が勤務を始めた2021年4月の時点で、豊北小図書室に司書がつくのは初めてのことでした。(週2回勤務)当時、市内の学校司書の数は10名だったので司書のいない小中学校がありました。(現在:20名体制、市内全小中学校に司書配置)

最初の年の1学期は、町内7つの小学校から運び込まれてきた図書の本を整理することが主な仕事でした。当然のことながら、同じ本がたくさん存在することになり、表紙の新しいものを書架に並べ残りは副本として保管しておきました。(統合により登録した本の本数は副本を含め約800冊。7月5日現在蔵書数7,155冊。)副本は、今年の6月に3年間の保管生活から表舞台へと戻ることになりました。校長先生の提案により校内の大ろうかかミニ図書館を新たに設置し、そこに校長先生の本と副本を並べています。設置したその日に、備えつけの貸出用紙に数十名の記入がありました。その後、同スペースに夢ロードの蔵書の中から児童向けの本を置かせていただけることになりコーナーを作りました。

最後に学校図書館の一般市民利用についてですが、学校図書館法で「支障のない限度で」利用できると定められています。一般の方も事前相談のうえ、学校図書館を訪問してみてください。子どもたちの日頃の読書環境をぜひ地域の方にも見ていただければと思います。

(磯部珠枝)



## <一軒まるごと蚤の市>

駅から北高へ向かう滝部の中通りは、何もかもがそろそろ商店街であった。

或る者はワクワクしながら店に入り買い物をし、その店のおじさんと仲良く会話をして学校へ向かう。悪ガキとみられる学生たちもいた。

そんな道筋の一角にタバコ屋さんがあった。そのタバコ屋さんは主人がなくなり主がいなくなり、その家屋を解体するらしい——。この情報を聞きつけた団体がある。

行政レベルでも令和5年度から「豊北地域リノベーションのまちづくり」事業が動き出しているなか、一度解体したらそのままになってしまう家屋を住めるようにしようと、令和5年5月に立ち上げて動きだした団体「一般社団法人たきびれっじ」である。

滝部在住の5人が、酒を飲みながらの話の中から進んでいったという。

対外的な信用を含め、地域に信頼される活動をするため、まずは法人化し、具体的な活動として、空き家や空き地など処分に困っている物件をオーナーから借り受け「滝部」に活用できる場所を作る。

タバコ屋さんの物件以前に2件の家屋に関わった経験もあった。そこで、タバコ屋さんにある、家財道具・着物類・台所用品等2,000点、これらと一緒に解体せずに家ごと売るべく、

<一軒まるごと蚤の市>と銘打ち計画を立てた。

下関市役所に入られていた「地域活性化起業人」の方からの意見やサポートもいただきながらの出発だった。他の取材で来ていたテレビ局にも準備の状況を放映してもらった。自宅ではしたくないことばかり。茶碗も一つずつ洗ったり、買ってもらうためには少しでもきれいにと、偶然にもボランティアできていた青山学院の方々もSNSで聞きつけて動いてくれた。

SNSでのつながりで、延べ100人近い方々の協力を得ての开店だった。結果は午前中雨の中、約700人の人が訪れ、家財も半分以上売

れ、家屋は京都の方がお二人でリノベーションして商売をされることになった。

その後も2件の空き家でワークショップや改修に取り組んでおり、5月には下関北高の地域探究授業の一環として〈たきびれっじ〉の今までの活動を話された。

私は、まちづくり協議会での出会で代表、副代表のお二人は知っていた。

「体力的にきついことはないですか？」

「楽しいからやっています。」

「奥様は何も言われませんか？」

「言わないけど思っているでしょうね？(含み笑い)」

ある人からの助言として、寛容さが必要であることを知らされた、とのことであった。

お話を聞いた後のSNSに気を付けてみるとひと月に一度、ゲストを呼んで焚き火会が行われている。

滝部ではこの5人の人が動いた。私はいつも思っている。何に対しても変えていくのは私たちが動き、声を上げることだ。一人でもよい。その一人に拍手し賛同し一緒に動く。特牛にも動いている人がいるという。

〈たきびれっじ〉が1周年を迎えられ、これから10周年20周年と続けられることを願っている。

我々夢ロードは10年前から動いている。  
(戸田佐和子)



(蚤の市が無事終了！タバコ屋さんの前で。)

### 下関北高生入学祝意幕の掲示と山陰線

3月25日(月)、北高同窓会と協働で、恒例の祝意幕を豊北総合支所等に掲示しました。ただし、今回は、昨年6月の大雨で栗野川鉄橋が被災しJR山陰線小串～長門市間が運休のため、滝部駅の掲示は割愛しました。なお、6月22日(土)より、下関発小串経由の直通便は滝部駅まで開通しましたが、小串～長門市の便は依然不通であり、これまでどおり代替バスが走っています。

### 10年ご寄付のお礼

前号でのご報告以降、2023年度末までに下記のご寄付をいただきました。厚くお礼申し上げます。  
(ご芳名 敬称略)

城石郁裕

累計 41 件 102.5 口 205,000 円

### 先輩の本棚 追加図書

川部那萌(豊北高校 2019年卒)  
moment. ギャラリーナカノ, 2023.1, 1冊。  
[写真集]

### 次回展示会

11月 LPレコードジャケットとその時代  
Part 2 フォーラム杜屋コレクションより

### 会費納入のお願い

2024年度会費を未納の方は、同封の振替用紙でお振り込み願います。正会員：2,000円  
郵便振替 口座記号：01350-1 口座番号：106942  
加入者名：北高夢ロード実行委員会

### 北高夢ロード通信 第15号(年2回刊)

2024年7月20日発行

編集：会報編集委員会(戸田・穂枝・白岡・村上)

発行：北高夢ロード実行委員会

〒759-5511 山口県下関市豊北町滝部 218-5

Tel：083-782-0084

ホームページ：<http://yumeroad.org>

Email：[kitakoyumeroad@gmail.com](mailto:kitakoyumeroad@gmail.com)